

第89期 株主報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで



西部電機株式会社

証券コード 6144

中期経営計画「チャレンジ280」のもと、常に変化に対応し、 市場競争を勝ち抜くべく、全社を挙げて努力してまいります。



平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第89期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の決算が終了いたしましたので、その概況をご報告申し上げます。

2022年6月

代表取締役社長 一 所 稔

Q 当期の業績について教えてください。

A 売上高、経常利益ともに増収・増益となり過去2番目の記録となりました。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の長期化に伴い経済活動の正常化までには至っていないものの、ワクチン普及のほか様々な継続的な感染対策の取り組みにより行動制限も徐々に緩和され、持ち直しの動きも見られました。一方、製造業を中心に半導体をはじめとした電子部品の供給不足による生産への影響や原材料価格の上昇、さらには地政学的リスクの懸念による資源価格の高騰等もあり、依然として先行き不透明感が続いております。

この様な情勢の中で、当社グループは、感染防止策として時差出勤やテレワーク、出張制限等を取り入れながら、お取引先様や従業員及び家族をはじめとする、すべてのステークホルダーの皆様安全・健康を第一に考え、活動してまいりました。また、2021年度から2023年度までの新中期経営計画「チャレンジ280」を策定し、どのような環境下にあっても、「危機感」と「決断」と「スピード」を常に念頭におき、変化に対応することによって、受注・売上を拡大し、市場競争を勝ち抜くべく、全社を挙げて努力してまいりました。

その結果、当社グループの連結業績は、受注高は主に精密機械事業が増加して、293億5千7百万円(前期比20.0%増)となりました。

売上高は、主に搬送機械事業が減少したものの、精密機械事業が増加して263億2千3百万円(前期比6.8%増)となり、2020年度を上回る過去2番目の記録となりました。損益においては、売上高の増加に加えコストダウンと経費節減に当社グループ一丸となって注力いたしました結果、経常利益は、過去2番目の記録となる28億2千7百万円(前期比17.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は19億4千2百万円(前期比19.0%増)となりました。

Q 次期の見通しについてはいかがでしょうか。

A 引き続き「チャレンジ280」を推進し、サステナブルな社会実現と企業価値のさらなる向上を図ってまいります。

次期のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動の制限と緩和が繰り返される中で、景気は緩やかに回復基調に復帰することが期待されます。しかしながら、半導体の供給不足や原材料価格の動向、更にウクライナ情勢の緊迫化等による下振れリスクを注視する必要があり、依然として先行きが極めて不透明な状況が続いております。

当社グループといたしましては、2021年度から2023年度までの3カ年における中期経営計画「チャレンジ280」を推進いたしております。どのような環境下にあっても、「危機感」と「決断」と「スピード」を常に念頭におき、変化に対応することによって、受注・売上を拡大し、市場競争を勝ち抜き所存であります。

さらに、中期経営計画に基づきESG(環境・社会・ガバナンス)重要課題やSDGsに取り組むことで、サステナブルな社会の実現と企業価値のさらなる向上を図ってまいります。

なお、通期の連結業績は、売上高283億4千万円、経常利益28億7千万円、親会社株主に帰属する当期純利益19億4千5百万円を見通しております。

Q 株主の皆様へメッセージをお願いいたします。

A 期末配当金は、1株あたり10円増配し、25円とさせていただきます。

当社は安定的な配当を継続して行うことを基本方針としており、業績の向上によって1株当たりの利益水準を高めるとともに、中長期の展望、財務状況等を考慮し、これに対応した配当を決定すべきと考えております。当期の期末配当につきましては1株につき15円を予定しておりましたが、株主の皆様の日頃のご支援にお応えし、より一層の株主還元を図るため、1株につき10円増配し、25円とさせていただきますと存じます。この結果、中間配当金を含めました当期の配当金は、1株につき40円となります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

西部電機は 「超精密とメカトロメーション®の追求」を理念に 多彩な技術で明日を拓くメカトロニクスメーカーです。



搬送機械事業



産業機械事業



精密機械事業

SDGsへの取り組み ～西部電機が取り組む5つのテーマ～

当社は「我々のロマン*」のもと、持続可能な社会の実現と企業価値の向上に向けた取り組みを加速させるため、
「西部電機 (SDGsへの取り組み)」を策定いたしました。
課題を特定し、中期経営計画における目標展開を図ることで、戦略的なサステナビリティの推進を図ります。

1 超精密とメカトロメーションが生み出す、 味のある製品で世界へ貢献



2 地球環境との共存を目指した モノづくりの実現



3 すべての人へ安全と安心を提供



4 経営基盤強化と社会的責任の追求



5 人材育成と多様な働き方への取り組み



搬送機械事業 「トランシップカートローダー」開発

近年、物流業界においては、労働力不足と働き方改革を背景に、省人化・無人化が求められています。この度、大手スーパーマーケット様より、単一商品パレットから6輪カートへケースを積み替えるという、重労働作業軽減のご要望を受け、ケースデパレ/パレタイズ自動化のシリーズ商品として単一商品ケース積み替え装置「トランシップカートローダー」を開発、納品いたしました。この装置の最大の特徴は、6輪カートに対して、汎用ロボットでは不可能である、人と同様の積み付けを可能にしたことです。

導入により、従来2人体制で行っていた1時間に400ケースの積み替え作業を1人体制かつ容易に行うことが可能となり、重労働作業の軽減に大きく貢献できました。

今後も、省人化・無人化要求の期待に応えられるよう、製販一体となって商品づくりに取り組んでまいります。



トランシップカートローダー

搬送機械事業 「2022国際ロボット展」出展



3月9日～3月12日に東京ビッグサイトで開催された「2022国際ロボット展」に出展いたしました。今回は、『ロボットがつなぐ人に優しい社会 ケース物流の自動化・省力化』をテーマに、当社独自で開発した無人化、省力化機器、「RIOシステム」「カートケースローダー」「牽引型AGV」「カートバラシ機」の4機種を来場者へ提案し、大きな反響をいただきました。

工場や物流センターでは、人手不足による自動化のニーズに加え、コロナ禍により社会的距離の確保も求められており、自動化設備の導入は加速しています。

当社は、これまでの実績・ノウハウに加え、ロボットや画像処理等、最新技術を取り入れ、マテハンメーカーでしか実現できないロボティクス・マテハンを提案し、今後も受注の獲得・拡販を図ってまいります。

産業機械事業 民需／海外 新機種「Type-007」開発

主力セグメントである国内上下水市場は飽和状態であり、更新案件の確保が永年課題となります。事業発展を実現させるためには、民需拡販・海外を含めた新市場の開拓が最重要課題となります。この課題に対応するため、電動バルブアクチュエータの世界標準規格「EN15714-2」に適合し、民需（化学・ガス）・海外拡販に期待が持てるニューモデル「Type-007」の開発を進めております。この「Type-007」は、世界市場で最も多く流通している小型アクチュエータであり、当社製品の現ラインナップには不足している機種であることがマーケティング調査で分かりました。

防爆（水素）・IEC規格取得を視野に入れ、今秋のリリースに備え開発を推進してまいります。

現行「VMM-01Z」



開発「Type-007（イメージ）」



体積比30%ダウン

産業機械事業 INCHEM TOKYO 2021 化学とプロセス産業「第34回 プラントショー」出展



化学及び産業用プラントの総合展示会「第34回 プラントショー」へ出展いたしました。今回の展示会は「DXと低炭素化技術が拓くイノベーション」をテーマとしており、コロナ禍で需要が高まっているリモート業務・AI化対応製品「ノータッチ・AIバルコン」、インフラ設備や生産ラインの「バッテリーバックアップシステム（停電対策）」、手動バルブの電動化に特化した小型製品「LB」、「SRH-Z」等開発製品6機種を展示いたしました。

キャッチコピー『西部電機から新提案』が、来場者からの注目を集め、全体の来場者が前回より3割落ち込む中、当社ブースには毎日250名以上が来場され、多い時にはブースから人が溢れかえるほどでした。会期中の最終来場者数は過去最高の777名となり、かつて無いほどの活況となりました。

来場者の反応は、停電時に電動操作できるバッテリーを内蔵したバックアップシステム、AI-PID制御を搭載したAIバルコンに注目が集まっておりました。化学、機械メーカー様等から具体的な引き合いをいただいております。今後さらに引き合いを増やせるものと期待しております。今後も開発と営業が連携をとり、顧客ニーズに沿った商品を開発し提供してまいります。

精密機械事業 高精密自由形状内面研削盤「SFG-35P」の開発

高精密自由形状内面研削盤「SFG-35P」を新たに開発し、メカトロテックジャパン2021（名古屋開催）へ出展いたしました。「SFG-35P」は、冷間鍛造市場の要望に応え、従来の「SFG-35HP」から洗練された機能のみを標準搭載したスマート機種として開発いたしました。SFGシリーズの特徴である切削と研削のHIBRID工法と機内計測で3工程が1台に集約され、粗加工から最終仕上げまでをワンチャッキングで行うことができ、冷間鍛造金型等丸物金型製作において、大幅な加工時間の短縮や精度品質の向上を実現しました。

今後、自動車部品等の冷間鍛造金型業界への拡販が期待できます。



精密機械事業 ワイヤ放電加工機Smart NC 新機能の開発

ワイヤ放電加工機Smart NCの新機能として、加工条件サポート機能「CC-Support」、簡易操作アシスト機能「SO-Assist」を開発いたしました。

「CC-Support」は、ワイヤ放電加工後の寸法や形状誤差に対する加工条件調整を容易に行うことができる機能です。従来は加工条件を調整するノウハウが必要でしたが、本機能を使用することで初めて当社機械を使用されるお客様でも容易に寸法調整が可能となりました。

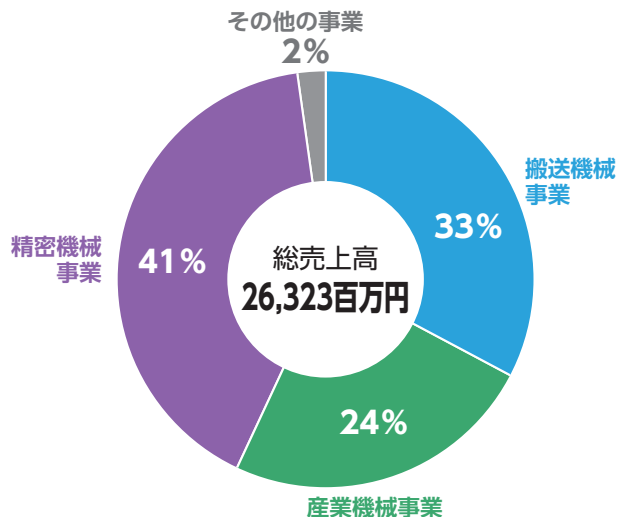
「SO-Assist」は、当社機械を初めて使用されるお客様を対象に、NCプログラム入力から加工を行うまでに必要な操作を工程順にアシストする機能です。機械購入直後で操作にまだ不安がある場合や、担当者が変更となった場合に、本機能で必要な操作を確認することが可能です。

今後も、事業部一体となって顧客ニーズに即した製品開発に取り組んでまいります。

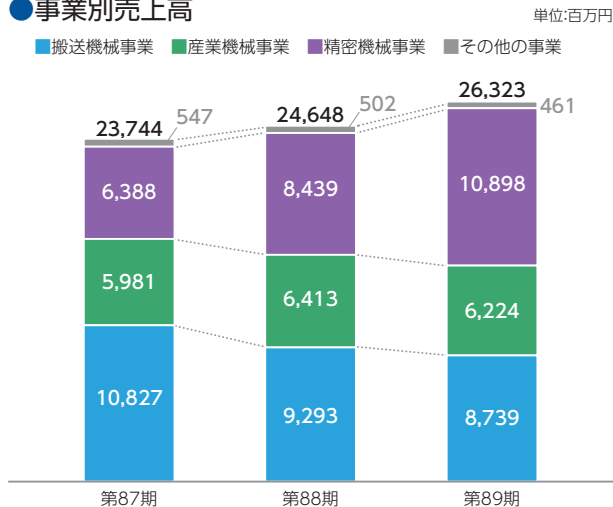


主要な事業別営業の概況 ・ *Operating Overview*

●事業別売上高構成比



●事業別売上高



搬送機械事業

売上高 **8,739**百万円

(前期比 6.0%減)

搬送機械事業では、既存顧客からのリピート受注、自動倉庫や生産・物流分野等に、ピッキングシステムや新商品を使ったソリューションを提案するとともにサービス・メンテナンスにも注力し、拡販を図ってまいりました。その結果、受注高は大口物件が減少したものの自動化物流センターの成約等があり95億9千万円(前期比5.7%増)、売上高は大口物件が減少したこと等から87億3千9百万円(前期比6.0%減)となりました。

主要製品

- 立体自動倉庫
- FAシステム
- ケース自動ピッキングシステム
- 搬送・ハンドリングシステム
- ロボティクス・マテハン

FAシステム(DIOシステム)



ロボティクス・マテハン(ファインピッカーC)



ロボティクス・マテハン(カートケースローダー)



産業機械事業

売上高 **6,224**百万円

(前期比 2.9%減)

産業機械事業では、受注高は61億6千9百万円(前期比1.7%減)、売上高は民需向けやゲート分野の大型案件がありましたもののサービス・メンテナンス案件が前年を下回り62億2千4百万円(前期比2.9%減)となりました。

主要製品

- バルブアクチュエータ
- ゲート駆動装置

バルブアクチュエータ・プラント



ゲート駆動装置(大型チェーン式)



精密機械事業

売上高 **10,898**百万円

(前期比 29.1%増)

精密機械事業では、国内は補助金効果もあり設備投資需要の回復基調が見られ、海外は中国向けワイヤ放電加工機の輸出が前連結会計年度から堅調に推移し、受注高は131億3千7百万円(前期比52.3%増)、売上高は108億9千8百万円(前期比29.1%増)といずれも過去最高額となりました。

主要製品

- 超精密・高精度ワイヤ放電加工機
- 超精密ワイヤ放電加工機(油仕様)
- 高精度小形NC旋盤
- 高精度自由形状内面研削盤
- 正面旋盤

超精密ワイヤ放電加工機(MEX15)



高精度自由形状内面研削盤(SFG-35P/HP/UP)



連結財務諸表(要約) ・ *Financial Statements*

単位:百万円(金額は単位未満を切り捨てております。)

■ 連結貸借対照表

科 目	第88期 2021年3月31日	第89期 2022年3月31日	科 目	第88期 2021年3月31日	第89期 2022年3月31日
資産の部			負債の部		
流動資産	23,071	25,403	流動負債	10,320	11,871
現金及び預金	10,954	13,784	支払手形及び買掛金	1,921	2,012
受取手形及び売掛金	7,518	—	電子記録債務	4,542	5,527
受取手形、売掛金及び契約資産	—	7,004	短期借入金	416	416
電子記録債権	1,680	1,832	未払費用	1,689	1,908
仕掛品	1,146	1,024	契約負債	—	776
原材料及び貯蔵品	1,711	1,627	前受金	832	—
その他	60	137	未払法人税等	632	788
貸倒引当金	—	△6	役員賞与引当金	69	82
固定資産	16,817	17,849	その他	215	358
有形固定資産	10,042	10,309	固定負債	4,048	4,061
建物及び構築物	3,537	3,325	長期未払金	71	62
機械装置及び運搬具	1,207	1,698	繰延税金負債	477	624
土地	5,006	5,002	再評価に係る繰延税金負債	1,477	1,477
建設仮勘定	—	0	役員退職慰労引当金	17	20
その他	290	283	製品保証引当金	711	601
無形固定資産	45	70	役員株式給付引当金	7	13
投資その他の資産	6,729	7,469	退職給付に係る負債	1,118	1,128
投資有価証券	5,298	5,810	その他	166	133
退職給付に係る資産	1,313	1,544	負債合計	14,369	15,933
繰延税金資産	34	37	純資産の部		
その他	88	80	株主資本	19,009	20,422
貸倒引当金	△5	△5	資本金	2,658	2,658
			資本剰余金	2,616	2,616
			利益剰余金	13,798	15,211
			自己株式	△64	△63
			その他の包括利益累計額	6,510	6,896
			その他有価証券評価差額金	3,048	3,402
			土地再評価差額金	3,363	3,371
			退職給付に係る調整累計額	98	123
			純資産合計	25,519	27,319
資産合計	39,889	43,252	負債純資産合計	39,889	43,252

■ 連結損益計算書

科 目	第88期	第89期
	2020年4月1日から 2021年3月31日まで	2021年4月1日から 2022年3月31日まで
売上高	24,648	26,323
売上原価	17,948	18,679
売上総利益	6,700	7,644
販売費及び一般管理費	4,411	4,920
営業利益	2,289	2,724
営業外収益	130	111
営業外費用	21	8
経常利益	2,397	2,827
特別利益	—	24
特別損失	8	2
税金等調整前当期純利益	2,389	2,848
法人税、住民税及び事業税	695	930
法人税等調整額	61	△23
当期純利益	1,632	1,942
親会社株主に帰属する当期純利益	1,632	1,942

■ 連結包括利益計算書

科 目	第88期	第89期
	2020年4月1日から 2021年3月31日まで	2021年4月1日から 2022年3月31日まで
当期純利益	1,632	1,942
その他の包括利益	1,888	378
包括利益	3,521	2,321

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	第88期	第89期
	2020年4月1日から 2021年3月31日まで	2021年4月1日から 2022年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,295	3,628
投資活動によるキャッシュ・フロー	△445	△240
財務活動によるキャッシュ・フロー	△536	△558
現金及び現金同等物の増減額	3,313	2,829
現金及び現金同等物の期首残高	7,511	10,824
現金及び現金同等物の期末残高	10,824	13,654

■ 連結株主資本等変動計算書

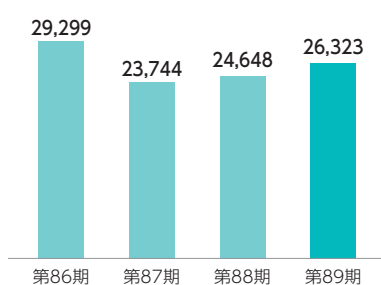
第89期 2021年4月1日から2022年3月31日まで	株主資本					その他の包括利益 累計額	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	2,658	2,616	13,798	△64	19,009	6,510	25,519
当期変動額							
剰余金の配当			△522		△522		△522
親会社株主に帰属する当期純利益			1,942		1,942		1,942
自己株式の取得				△0	△0		△0
自己株式の処分				0	0		0
土地再評価差額金の取崩			△7		△7		△7
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						386	386
当期変動額合計	—	—	1,412	0	1,413	386	1,799
当期末残高	2,658	2,616	15,211	△63	20,422	6,896	27,319

連結業績ハイライト ・ *Financial Highlights*

科 目	第86期 2018年度	第87期 2019年度	第88期 2020年度	第89期 2021年度(当連結会計年度)
売上高 (百万円)	29,299	23,744	24,648	26,323
経常利益 (百万円)	3,328	2,206	2,397	2,827
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	2,283	1,382	1,632	1,942
1株当たり当期純利益	150円71銭	91円23銭	107円98銭	128円69銭
総資産 (百万円)	39,129	35,319	39,889	43,252
純資産 (百万円)	22,334	22,504	25,519	27,319
1株当たり純資産額	1,474円24銭	1,485円48銭	1,690円50銭	1,809円62銭
自己資本比率 (%)	57.1	63.7	64.0	63.2

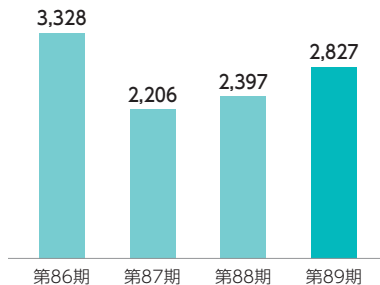
売上高

単位：百万円



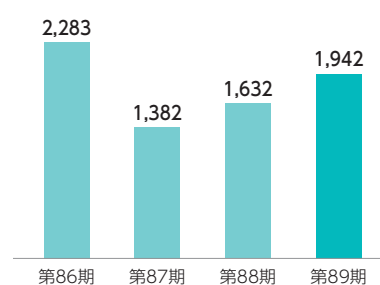
経常利益

単位：百万円



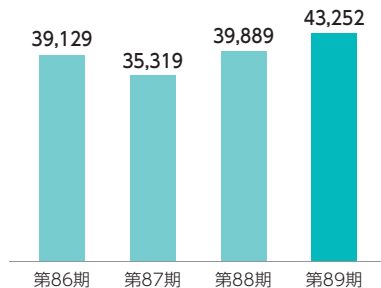
親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円



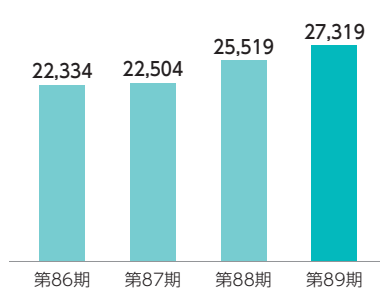
総資産

単位：百万円



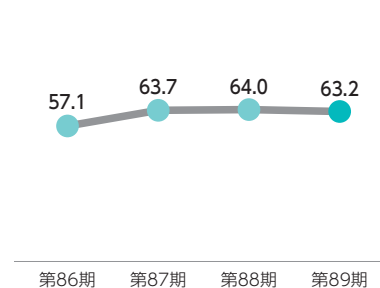
純資産

単位：百万円



自己資本比率

単位：%



会社概要・Corporate Profile

2022年3月31日現在

会社の概況

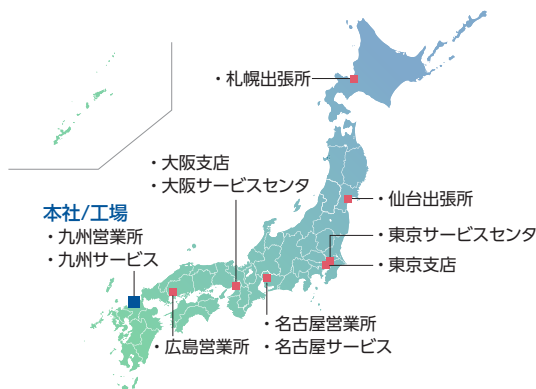
商号	西部電機株式会社
英訳名	Seibu Electric & Machinery Co., Ltd.
本店所在地	福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
設立	1939年2月1日
資本金	26億5,840万円
従業員数	511名(連結568名)

役員

2022年6月29日現在

取締役会長	宮地 敬四郎
取締役社長(代表取締役)	税所 幸一
常務取締役	後藤 俊哉
取締役	佐藤 徳生
取締役	溝田 安彦
取締役	村上 光平
取締役	松下 和宏
社外取締役	井上 信之
社外取締役	馬場 信哉
常勤監査役	大串 秀文
社外監査役	大塚 丈徳
社外監査役	岸川 浩幸

事業所



株式の状況

発行可能株式総数	32,980,000株
発行済株式の総数	15,160,000株
株主数	2,280名

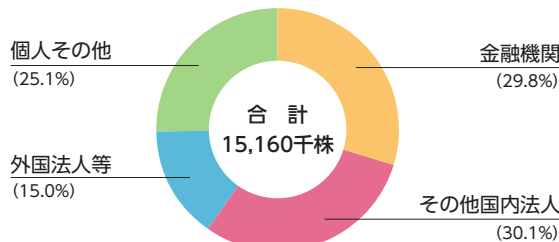
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社安川電機	2,630	17.3
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	1,650	10.8
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,506	9.9
株式会社豊田自動織機	1,106	7.3
MSIP CLIENT SECURITIES	675	4.4
株式会社三菱UFJ銀行	650	4.2
株式会社福岡銀行	633	4.1
みずほ信託銀行株式会社	626	4.1
株式会社西日本シティ銀行	589	3.8
西部電機従業員持株会	409	2.7

(注) 1. 持株比率は自己株式(10,364株)を控除して計算しております。なお、自己株式には株式給付信託(BBT)の信託財産として信託が保有する当社株式53,100株は含まれておりません。

2. シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社から2021年8月10日付で提出され、公衆の縦覧に供されている大量保有報告書の変更報告書において、2021年8月2日現在同社が3,760,000株(保有割合24.80%)を保有している旨が記載されております。しかし、当社として当事業年度末における同社の実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
剰余金の配当	毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
中間配当	取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページ(https://www.seibudenki.co.jp/)に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、取締役会の決議によってあらかじめ公告いたします。

ホームページのご案内

当社Webサイトでは、事業内容やIR情報などがご覧いただけます。



<https://www.seibudenki.co.jp/>

または、

	証券会社等で 株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合 (特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受 取り方法の変更などの お問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	当社の特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社へお問い合わせ願います。 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
未払配当金、その他当社 株式関係書類のお問い 合わせ	右記みずほ信託銀行株式会社 までお問い合わせ願います。	ホームページ: https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
ご 注 意		特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。



株主優待制度のお知らせ

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を向上させ、より多くの株主様に中長期的に保有していただけることを目的に、株主優待制度を実施しております。

株主優待制度の概要	(1) 対象となる株主様	3月末現在の株主名簿に記載された当社株式 1単元(100株)以上保有の株主様。
	(2) 優待内容	保有株式数100株以上でクオカード1,000円分を 進呈いたします。
	(3) 贈呈時期	定時株主総会終了後の6月下旬の発送を予定して おります。



表紙の絵は、本社玄関フロアに展示されている陶版画で、奥入瀬深流の四季をモチーフに『自然随順』を表現しております。

当社が「我々のロマン」として掲げるスローガン「我々は技術の本質を謙虚に探索し自然随順に即した応用で広く世界に貢献しよう」は、好不況にかかわらず、ロマンを胸に、機械文明と自然が共存し得るとの信念で謙虚さと誇りをもって商品を作り、広く世界に貢献することを宣誓しています。

西部電機株式会社

●お問い合わせ先

〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号 TEL:092-941-1500(代表)



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。